

# 新日軽

# 電動ウイングゲート

## 組立施工マニュアル

——施工工務店様、販売店様へ——

この手引き書は施工完了後裏表紙に必要事項を記入し、  
お施主様へお渡しください。

新日軽株式会社

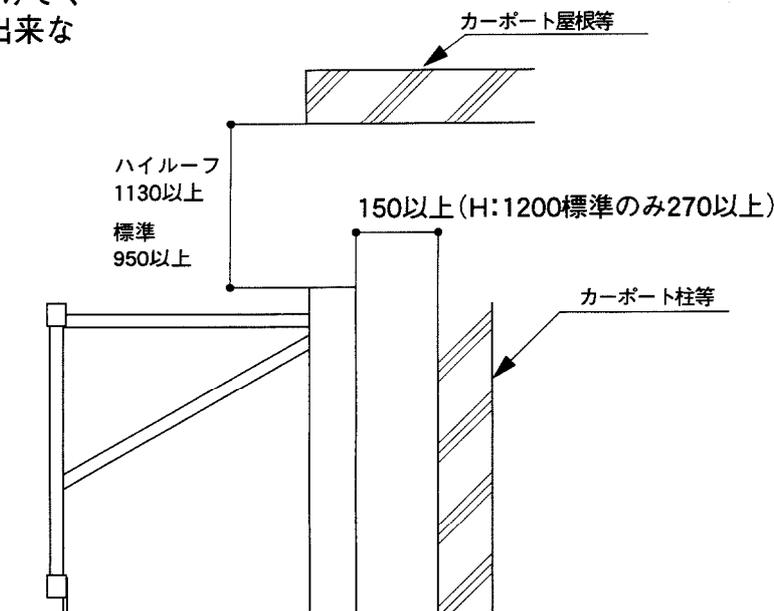
## ■工事店様へ

●新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむらの等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カリシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか、塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦輸入木材には、塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- ⑧門柱の内部にモルタルやコンクリートが入らない様、施工時に注意してください。

### 施工の時、必ず守ってください

- ① 柱の後方は150mm以上 (H:1200標準のみ270以上)、上方はハイルーフ1130mm以上、標準950mm以上、必ずあけてください。メンテナンスが出来なくなります。
- ② 扉を取付ける時は必ず安全ストッパーをロックしてください。
- ③ 扉を取付けるまで電動で作動させないでください。



# ■ 適応柱一覧表

## ■ 電動柱

区分	柱記号	ワイドタイプ	エクジス	キャスステージ	ウイングゲート
E	☆PEEPBEN ☆PEELBEN				E型全サイズ
F	☆PEFPBEN ☆PEFLBEN		A型全サイズ G型2710 H型全サイズ G型3010 J型2710 P型2710		A型全サイズ C型全サイズ H型全サイズ J型全サイズ
G	☆PEGPBEN ☆PEGLBEN		G型2712 P型2712 A型3010 P型3010 J型2712 P型3012 J型3010 J型3012	C型2710 C型3010	B型2712 B型3012 D型2712 D型3012
H	☆PEHPBEN ☆PEHLBEN			B型全サイズ C型2712 C型3012	
J (ワイド)	☆PEJPBEN ☆PEJLBEN	A型5210 B型5210 A型4910 B型4910 A型4610 B型4610 A型4612 B型4612 A型4010 B型4010 A型4012 B型4012 A型3410 B型3410 A型3412 B型3412			
L (ワイド)	☆PELPBEN ☆PELLBEN	A型5810 B型5210N A型5212 B型5810 A型5812 B型5212 A型4912 B型5812 B型4912			

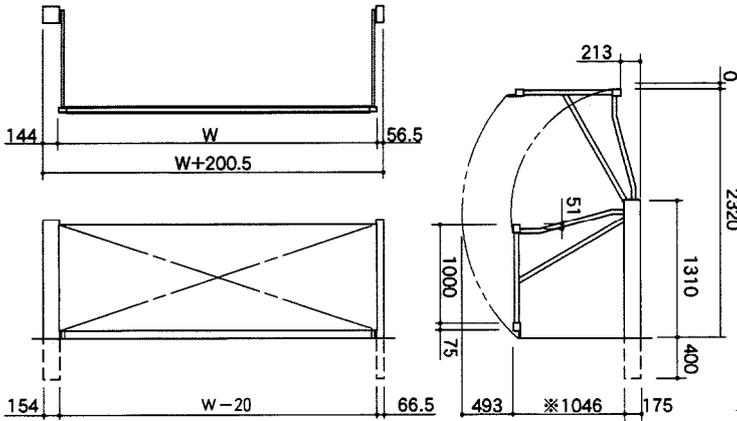
☆は色記号が入る。柱と扉が適合しているか確認してください。

## ■ 梱包内容

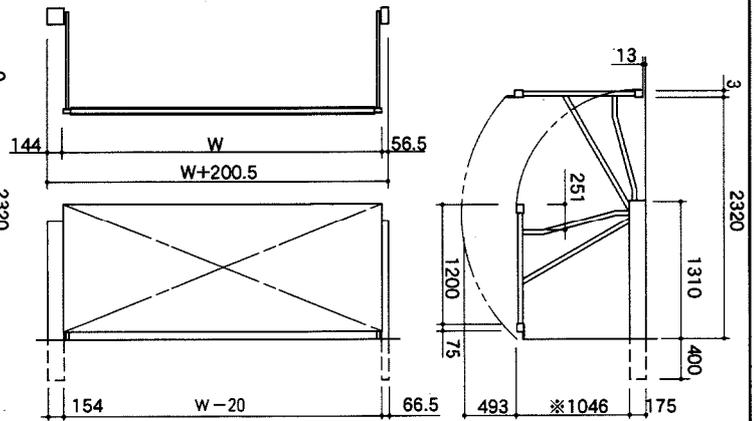
名称	梱包内容
柱セット	標準 左側支柱（電動用）1本 右側支柱（従動用）1本 アームA 2本 アームB 2本 取付取扱説明書 部品箱〔ブラケットA (4) ブラケットB (2) 裏板A (2) 裏板B (2) アンカー棒 (2) 埋込金具 (1)〕 〔本体支持金具 (2) 安全ストッパー (2) 取付ビス類 リモコン (1、ワイドは2)〕
	ハイルーフ 左側支柱（電動用）1本 右側支柱（従動用）1本 アームA 2本 アームB 2本 取付取扱説明書 部品箱〔ブラケットA (4) ブラケットB (2) 裏板A (2) 裏板B (2) アンカー棒 (2) 埋込金具 (1)〕 〔本体支持金具 (2) 安全ストッパー (2) 取付ビス類 リモコン (1、ワイドは2)〕
扉セット	扉本体 1体 縦枠キャップ 4個 取付けビス類 ビス穴ふさぎ 4又は8 引手セット 1又は3 連結バー 1 (使用しません)

# 納まり図

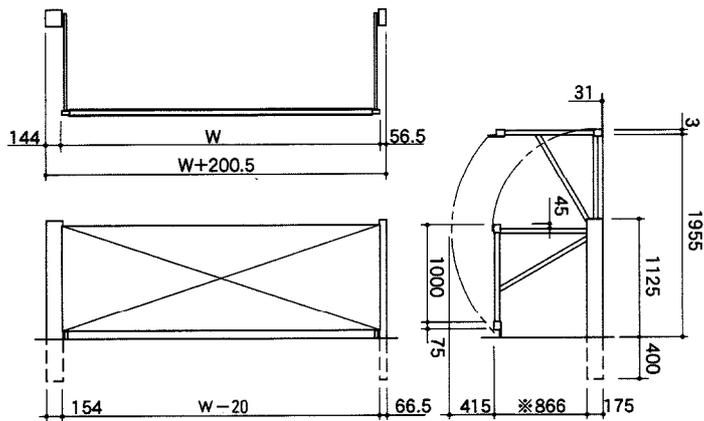
## ■ハイルーフ H=1000



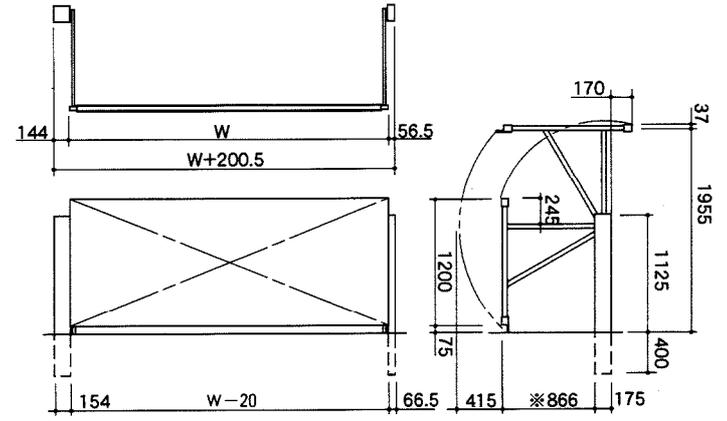
## ■ハイルーフ H=1200



## ■標準 H=1000



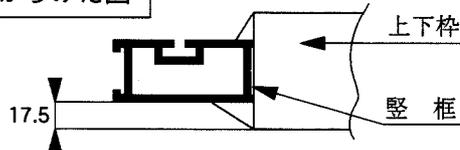
## ■標準 H=1200



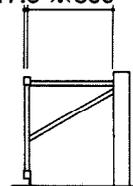
W
2700
3000
5200
5800

上図※印の寸法は、堅框前面で押さえた寸法です。  
ワイドタイプの場合、堅框より上下枠が17.5mm  
前方へ出っ張っています。

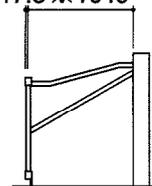
上からみた図



17.5 ※866



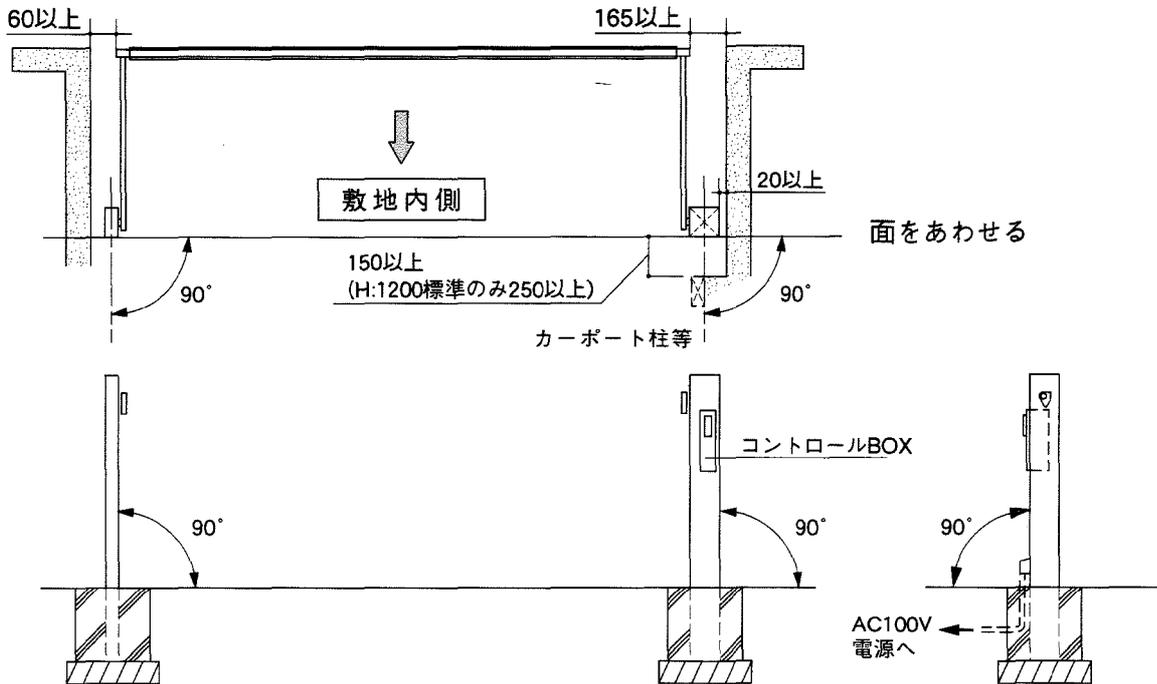
17.5 ※1046



# ■柱の埋込

■納まり図を参照し、柱を埋め込みます。

柱の後方は150mm以上(H:1200標準は270以上)、  
上方は標準950以上、ハイルーフ1130以上必ず  
あけてください。



- 1) 基礎用の穴を掘り、割栗石を敷いてください。
- 2) 柱にアンカー棒を差し込み、基礎穴に建て込んでください。
- 3) 埋め込み位置、高さ、垂直度、水平度を調整し垂木などで固定しコンクリートを流し込んでください。

**!** G.Lより上の左右柱廻りは、メンテナンスのため  
コンクリート等で仕上げないでください。

- ※注意
- 1) G.L表示マークが家側になるように建て込んでください。
  - 2) 柱はXおよびY方向の水平レベルを十分チェックしてください。
  - 3) 各カーポートとの取り合い寸法を総合カタログで確認してください。

**!** 扉を取付けるまで、電動で作動させないでください。

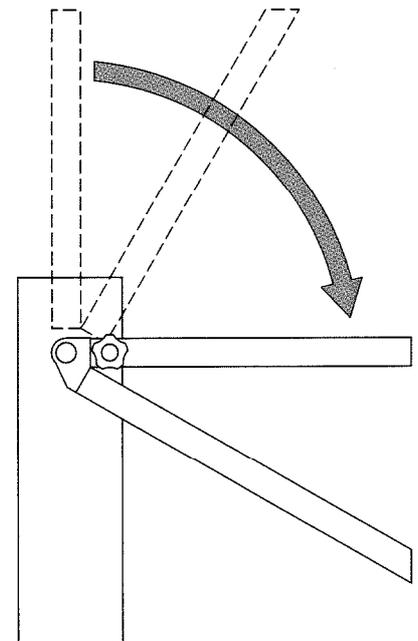
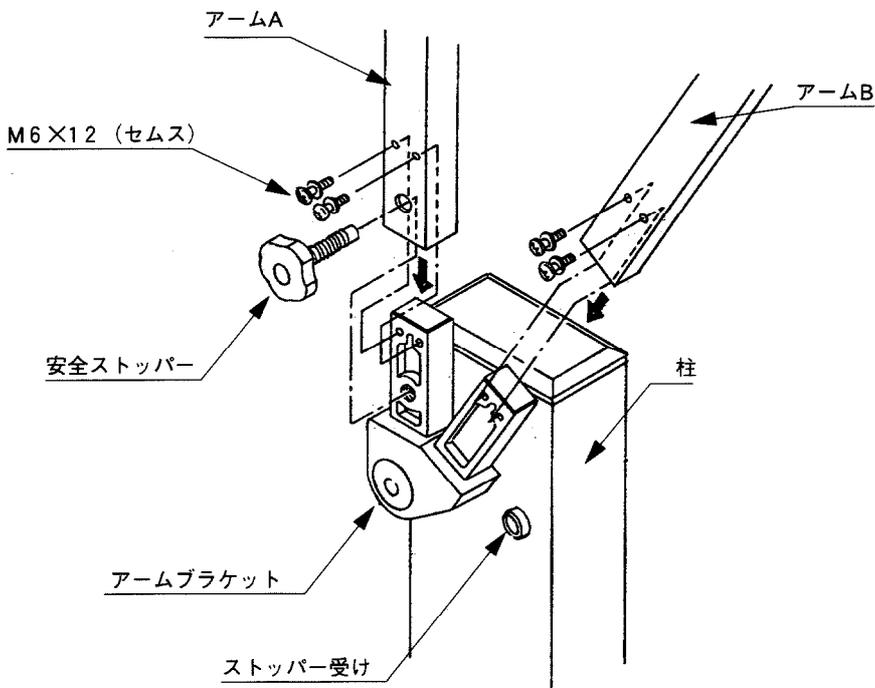
## ■アームの取付け

1) アームA・アームB取付ビスで取付けます。

2) アームAが水平になるように回転させ、  
ストッパーをねじこみ固定させてください。

注) アームBには左右がありますので確認の上  
取付けてください。

できるだけアームの先端を持って  
回転させてください。



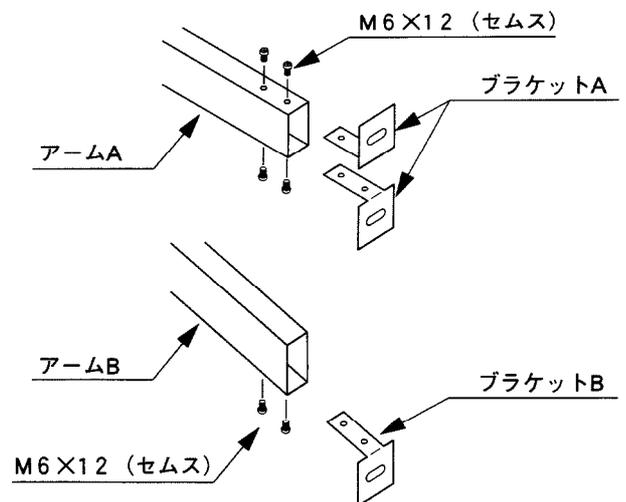
ハイルーフの場合、アームの形状は  
図と違いますが取付方は同じです。



扉を取付けるまで、電動で作動させないでください。

## ■ブラケットの取付け

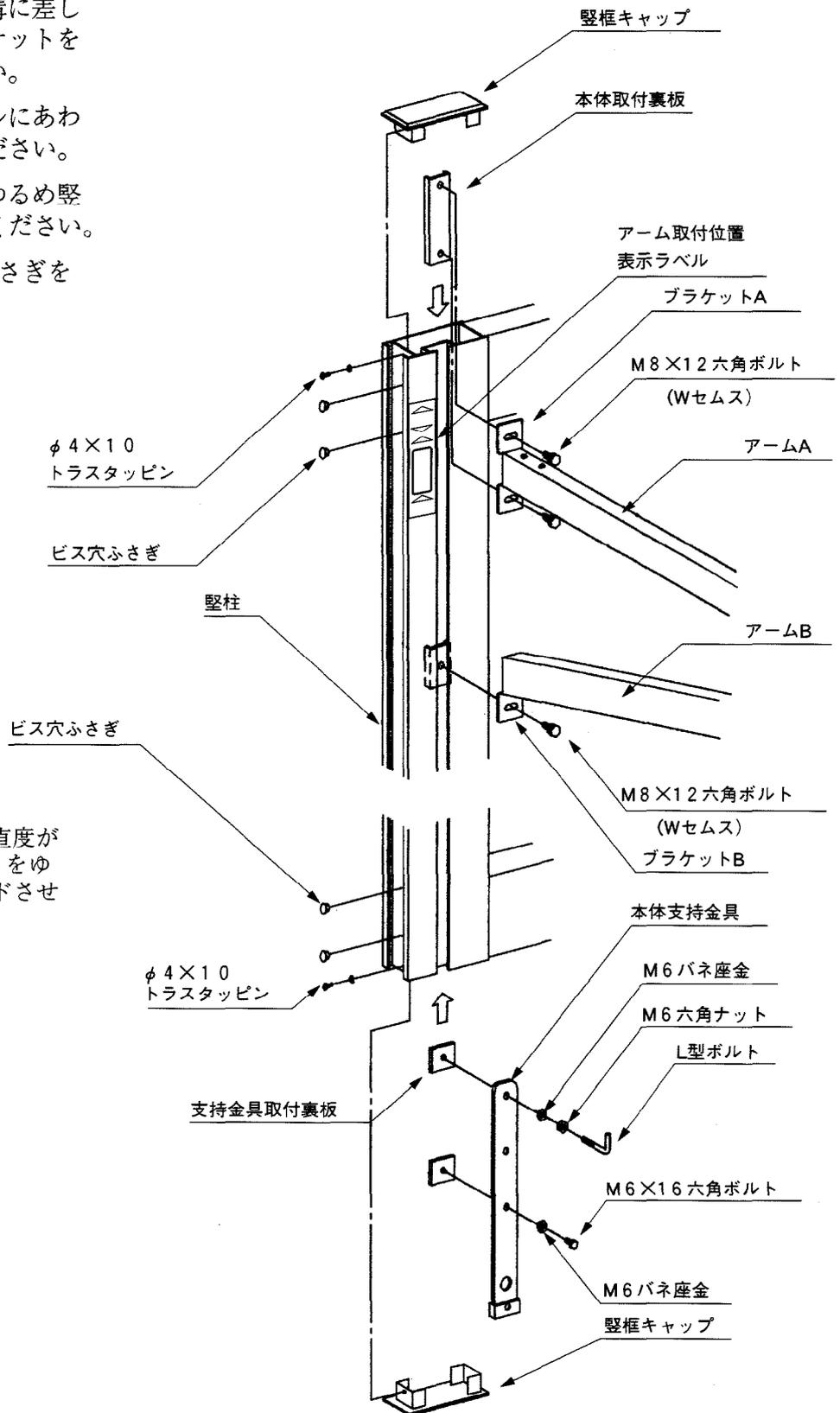
アームAにブラケットAを、  
アームBにブラケットBを、  
取付ビスで取付けます。



# ■扉本体の取付け

## ■アーム・支持金具の取付け

- 1) アーム取付裏板を本体の溝に差し込み、アーム先端のブラケットをボルトで固定してください。
- 2) アーム取付位置表示ラベルにあわせてアームを取付けてください。
- 3) 本体支持金具のボルトをゆるめ、縦框に差し込んで固定してください。
- 4) 縦框キャップ・ビス穴ふさぎを取付けてください。



注) 取付け後、閉めた状態で扉の垂直度がでない場合は、アームBのボルトをゆるめ、アームを上・下にスライドさせて調整してください。

※連結バー（扉本体に同梱）は使用しません。

## ■扉の調整

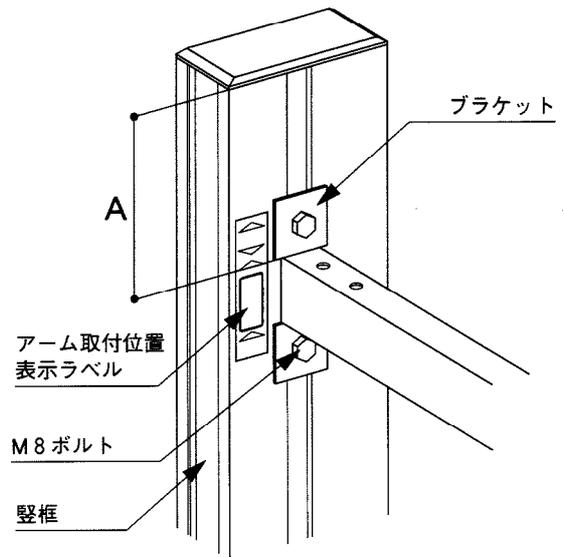
### A寸法

	H=1000	H=1200
標準	45(30)	245(230)
ハイルーフ	51(36)	251(236)

ウイングゲートG型扉のみ ( ) 内寸法とする。  
(WG<sub>8</sub> ○○○○ )

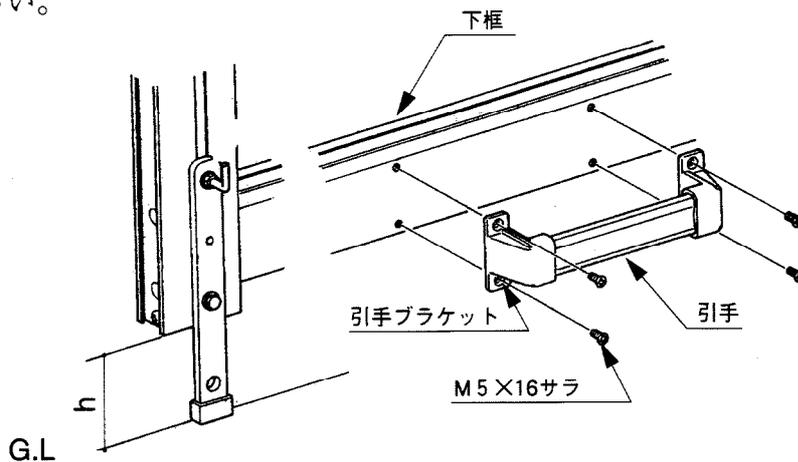
注) 扉の水平・左右調整は、ブラケットの  
ボルトをゆるめて行ってください。

A寸法は必ず守ってください。  
(開・閉作動に支障が生じます。)



## ■引手の取付け

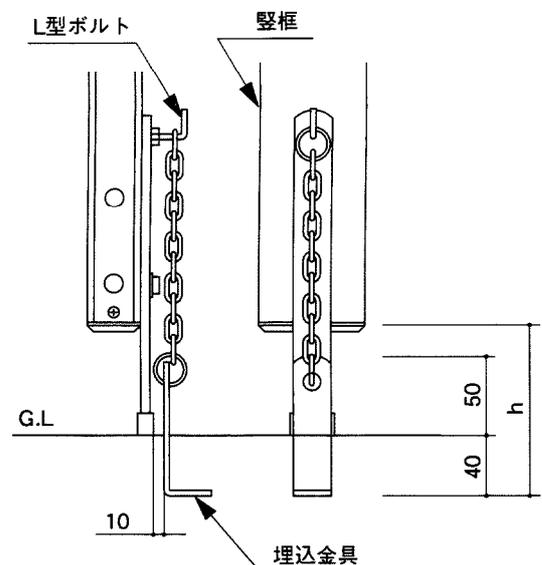
引手両端にブラケットを差し込み皿ビスで  
取付けてください。



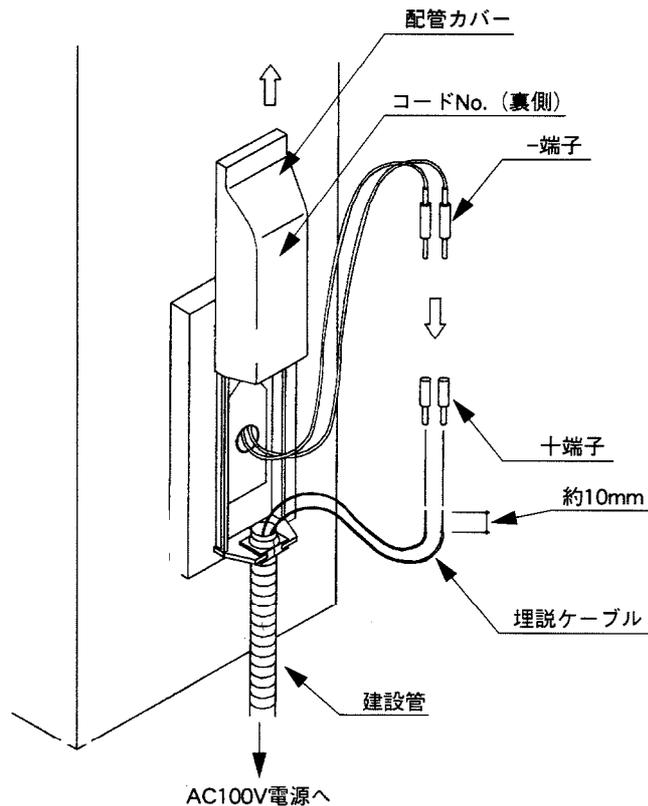
注) 本体支持金具を施工面と扉の距離に合わせて調整してください。  
(hは50~130まで調整可能です。)

## ■埋込金具

埋込金具を埋込んでください。  
埋込金具のリングをL形ボルトに  
掛けると容易にロックできます。  
又、市販の南京錠で支持金具と埋  
込金具の間で施錠できます。



## ■配線・・・必ず電気工事店様が行ってください。



(1) 配線カバーをスライドさせ、埋設管を配線ボックス下部にはめこみます。

注) 埋設管はφ20mmまで使用可能です。

(2) 埋設ケーブルに+端子を工具で圧着し、本体側の+端子と接続してください。

(3) ケーブル接続後は付属の結束バンドでまとめ、配線カバーを閉めてください。



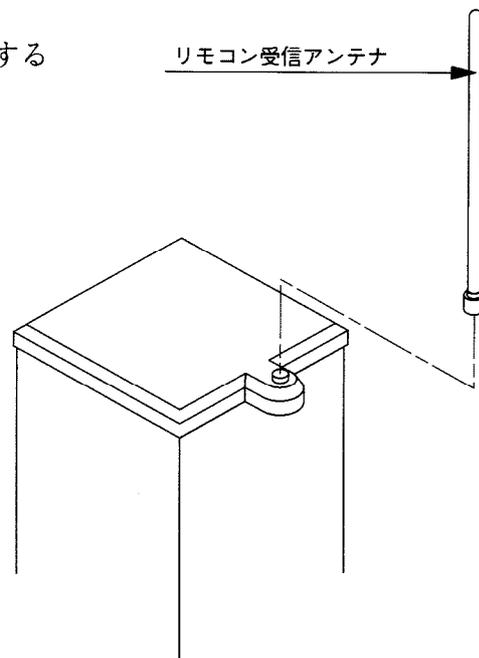
扉を取付けるまで、電動で  
作動させないでください。

## ■アンテナ取付け

リモコン受信機アンテナを、柱キャップの出っ張り部のコネクタに  
挿し込み、しっかり固定してください。

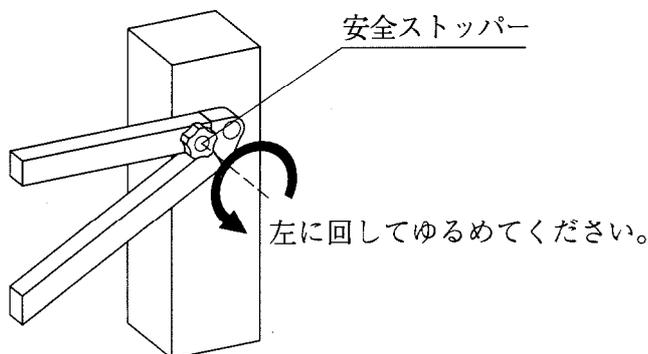
注) 取付けが全て完了しましたら、実際にリモコン操作をする  
位置(10m以内)より、作動確認をしてください。

注) アンテナとリモコンの間に遮蔽物がある時や  
又、車内よりリモコンを操作する時等は、  
作動しにくくなります。アンテナの見通しが  
きく所から操作してください。

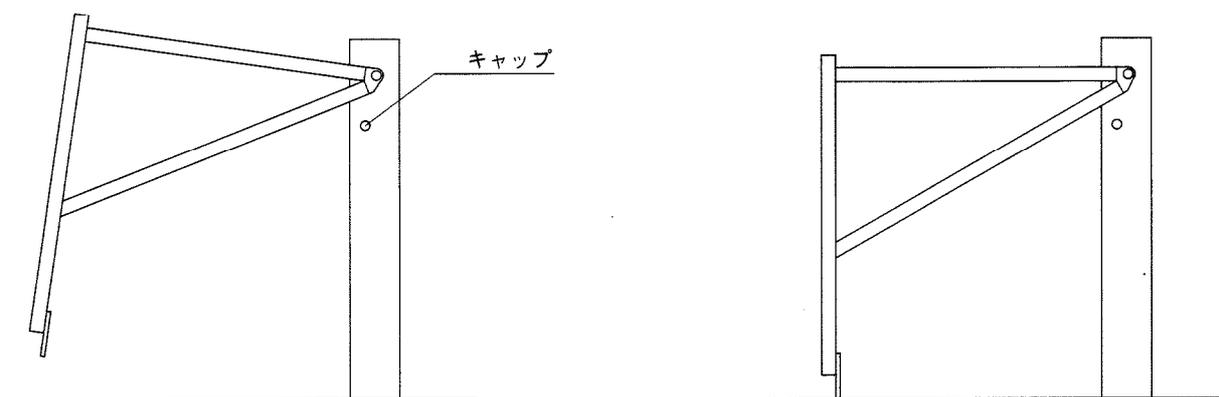


## ■安全ストッパー

施工が全て完了しましたら、安全ストッパーをゆるめてストッパー受けから外した状態にしてください。



## ■施工後の調整 扉が下まで閉まらない場合



- 1) 図のキャップを外してください。中に調整ネジがあります。
  - 2) マイナスドライバーで左へ半回転～1回転程してください。
  - 3) 柱のスイッチで開・閉をして確認してください。  
2)、3) をくり返し、扉の垂直、アームの水平を見てください。
  - 4) 調整後、キャップを付けてください。
- 注) 調整量は一定範囲決まっていますので、無理な力を加えてネジを回さないでください。

## ■施工後の点検

- 1) 左右の安全ストッパーをゆるめてストッパー受けから外した状態とし、柱の押しボタンスイッチにて扉の開閉試験を行い、不具合な点がないか確認してください。
- 2) 付属のリモコン送信機で、見通し距離10m以内にて扉の開閉動作の確認をしてください。  
押しボタンどおりの動作をするか確認してください。。

# リモコン

## ご使用方法

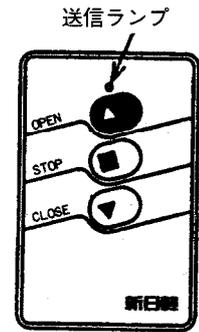
### リモコンの取り扱いについて

#### ■取り扱い上の注意

- ・ 取り扱いはいねいにしてください。床などに落とすと故障の原因となることがあります。
- ・ 雨など水に濡れないようにしてください。
- ・ 車のダッシュボードの上など、高温の場所に置かないでください。
- ・ 2台以上の送信機を同時に操作されると、信号を受け付けないことがありますのが故障ではありません。
- ・ 柱上トランクやテレビ・ラジオの送信所付近では、操作可能距離が短くなる場合があります。
- ・ 送信機は必ず扉の見える位置で操作してください。

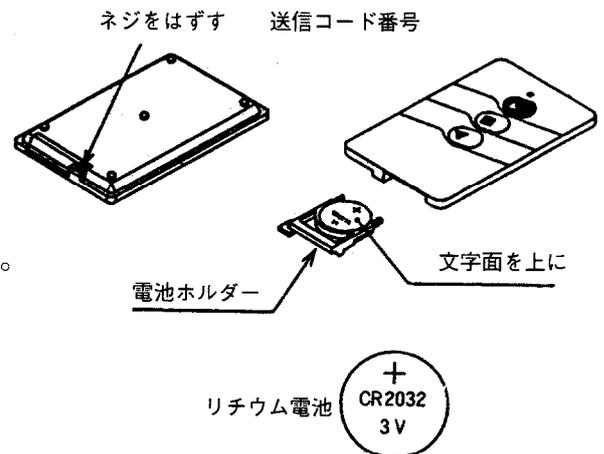
#### ■操作方法

- ・ 送信機をアンテナに向け、ボタンを1秒程軽く押してください。押している間、送信ランプが点灯します。
- ・ 操作可能距離はアンテナが見える位置で10m以内です。送信機は必ず扉が見える位置で操作してください。
- ・ 車内で操作される時は、窓に近づけてください。



#### ■電池の交換

- ・ 送信ランプが暗くなったり点灯しなくなったら、新しい電池とお取り替えください。
- ・ 電池はリチウム電池CR2032 3V 1個です。(電気店でお求めになれます。)
- ・ ホルダーに入れる時は、文字のある面を上にしてください。
- ・ ネジは必ず元通り締め付けてください。
- ・ 電池交換後、必ず動作確認をしてください。
- ・ 長期間使用しない時は電池を取りはずして保管してください。



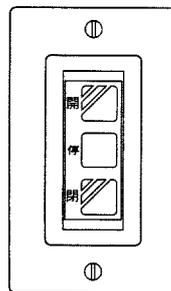
#### ■コード番号

- ・ 送信機裏面にコード番号が貼ってあります。これは、送信機を追加する場合や送信機をなくされた場合など、送信機のみを発注する際に必要となりますので、どこかに控えておいてください。
- ・ 万が一、送信機をなくしてしまい、コード番号の控えもなくしてしまった場合には、配線カバーを上スライドさせ外し、裏側に数字3桁○○○Fの表示があります。又は、電動柱の制御基盤ボックス内部にコード番号が貼ってありますので、そちらを確認してください。(制御基盤ボックスは、非常の場合以外開けないでください。)

## 柱スイッチの操作方法

- ・ 扉の開閉は、柱スイッチでも操作できます。

- 開 : 扉が開きます。
- 停 : モーターが停止します。
- 閉 : 扉が閉じます。

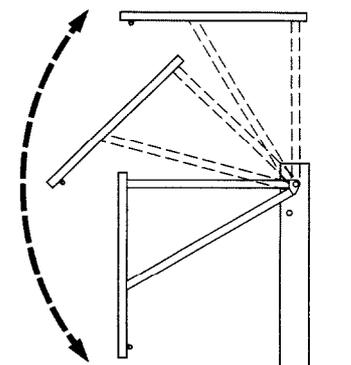


注) 風雨や積雪を考慮して設定してあります。

取付け・施工状態・サイズによっては下から約60°~80°の範囲において **STOP** 停 ボタンの操作を行なっても停止せず開状態になる事がありますが誤作動、故障ではありません。

## 停電又は緊急時の手動による操作

- 扉の下、或いは引手等を持って静かにゆっくり上げ、下げしてください。
- 注) 緊急時以外は手動による開閉は、極力避けてください。
- 通常は、柱スイッチ、リモコンにて電動で開・閉をしてください。



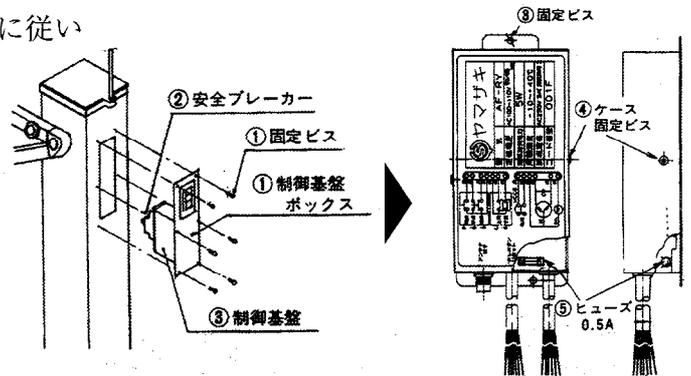
## 落雷や停電の後、作動しない場合

落雷や、落雷による停電の時、屋内のブレーカーや電動柱内のブレーカーが落ちたり、ヒューズが切れる事が有りますので、下記項目をご確認ください。

確認事項		対 処
1	屋内ブレーカーの確認	ブレーカーを復帰してください。
2	柱内安全ブレーカーの確認	ブレーカーを復帰してください。
3	制御基盤ヒューズの確認 (下図参照)	ヒューズが切れていましたら、添付のスペアヒューズと交換してください。 スペアがない場合は、0.5A (アンペア) と指定の上、電気店等でお買い求めください。

## 安全ブレーカー及びヒューズの確認の仕方

- ①制御基盤ボックスの固定ビスを外し、ボックスを引き出してください。
- ②安全ブレーカーが上向き(ON)か、下向き(OFF)か確認してください。  
下向き(OFF)の場合、復帰してください。  
上向き(ON)の場合は、下向きにした後下記手順に従いヒューズを交換してください。
- ③制御基盤の固定ビス上下2本を外してください。
- ④ケース固定ビス2本を外してください。
- ⑤ヒューズが切れていないか、確認してください。
- ⑥ヒューズを交換してください。
- ⑦安全ブレーカーを復帰(ON)にしてください。



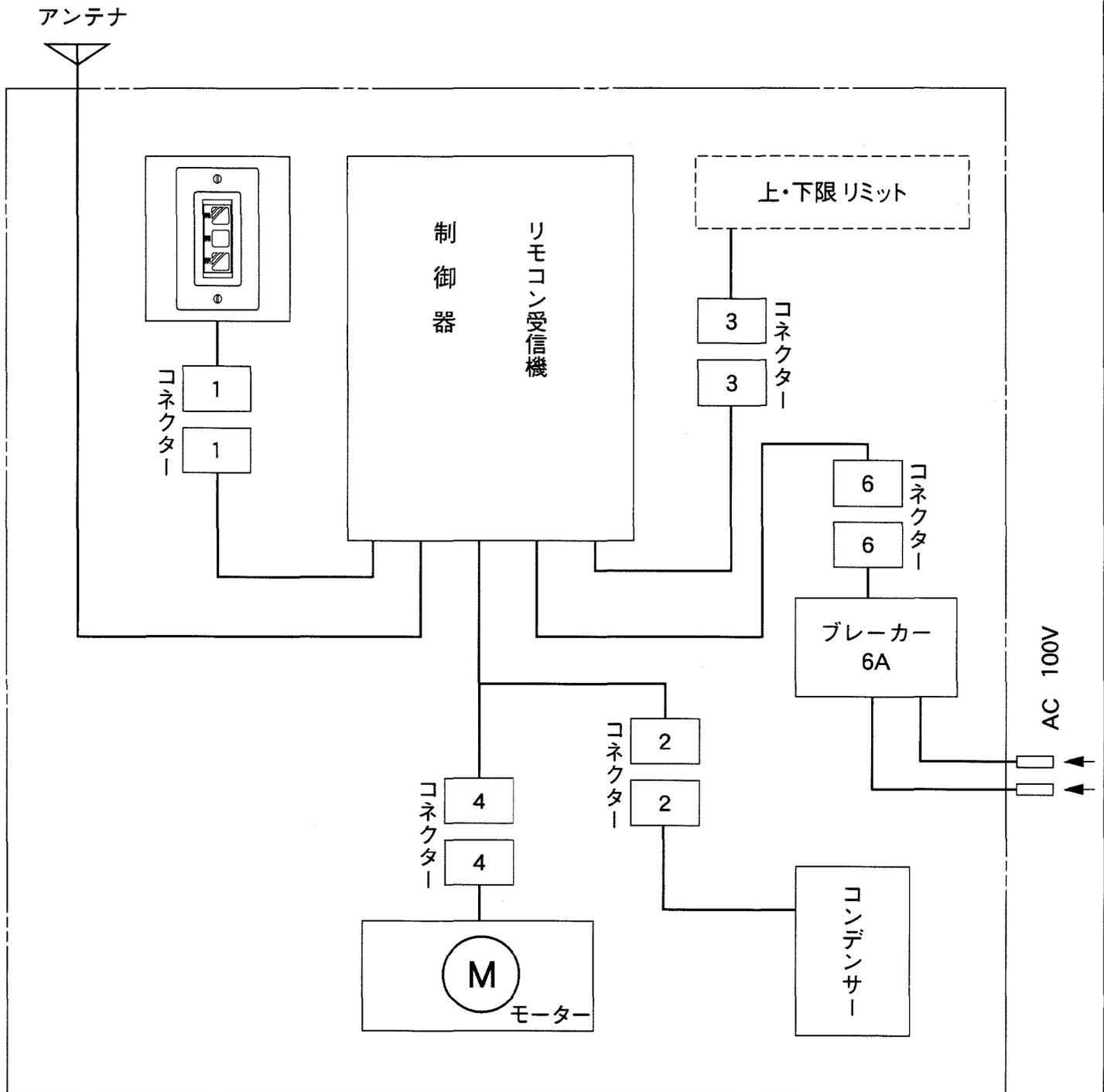
## 仕様

入力電圧	AC100V(50/60Hz)
消費電力 (動作時)	60W(50Hz) . 59W(60Hz)
モーター定格出力	25W
周囲温度	0℃～60℃
開閉時間	7～10秒(50Hz) 6～9秒(60Hz)
操作方法	押しボタン、リモコン

## おわりに

以上で取付けは完了ですが、お客様に正しく取り扱っていただくために、当マニュアルをお渡しいただき、使用方法、メンテナンス等の説明をしてください。

# ■ システム図



## ■故障かなと思ったら

リモコン・柱スイッチで扉が開閉しなくなったり、作動状態が不良の場合は、下記のような点が考えられますので確認してください。

確認されても正常な状態に戻らない時は、新日軽各支店、営業所にご相談ください。

※修理を依頼される時、下記内容についてお知らせください。

- 製品名（柱の製品記号・扉の機種・サイズ等） 故障の内容  
 施工日・ご氏名・ご住所・電話番号・道順

## ■チェックポイント

状 況	確認事項	原因・対処	
柱のスイッチを押しても扉が作動しない。	モーター音がしますか？	Yes	扉の機種と柱の機種の組合せが適正か確認して適正な組合せにしてください。
		Yes	安全ストッパーがかかっていますか？はずしてください。
		Yes	扉の取付け位置が正規の位置に取付いているか確認して正規の位置に取付けてください。
		Yes	扉の改造又は、標準納まり以外の納まりをしていませんか？
		No	AC100Vの電源に通電されているかどうか確認してください。
		No	制御基盤ボックス内のブレーカーがOFFになっていませんか。ONにしてください。
		No	電源が適正電圧か確認してください。又、ヒューズが切れていませんか。（P11参照）
リモコンスイッチを押しても作動しない。	柱のスイッチで操作しても作動しないですか。	Yes	前項を参照してください。
		No	リモコンに電池が入っているか確認してください。又、+-を確認して電池を入れてください。
		No	アンテナが取付けられていますか？取付けてください。
扉が途中で止まってしまう	扉と柱の組合せは適正な組合せですか。	Yes	柱の側面の調整ネジで調整してありますか。調整してください。
		Yes	アーム取付位置を適正な位置にしてありますか。してなければ取付け直してください。（P7参照）
		Yes	扉の改造又は、標準納まり以外の納まりをしていませんか？
		No	適正な組合せにしてください。